

自慢の団結力で全国大会出場

いつも一緒に 仲良し5人

木山の市ノ後地区に道場を構える益城柔道クラブ。松野成哉監督の指導の下、町内外の小中学生約40人が日々鍛錬に励んでいます。

2月に行われた全国少年柔道大会県予選では、小学生チームが初優勝。全国大会出場を決めました。

チームの7人中5人が益城中央小の北村麻陽さん・一羽くん(市ノ後)、田上龍汰くん(辻団地)、大滝晃太くん(辻の城団地)、松藤新くん(辻の城団地)。同じ学校に通い、放課後は柔道で汗を流し、休日は野球などをして公園で遊ぶ、いつも一緒にの5人組です。撮影時にも「肩を組んでもいいですか?」とリクエストし、みんなでワイワイ。仲の良さがうかがえます。

仲間でありライバル 高め合い全国へ

「一致団結して勝ちに行く団体戦が好き」と松藤くんが

下段写真左から
練習に取り組む
表情は真剣そのもの
/ 気迫あふれる
練習 / 全国大会
出場チームのキャ
プテン・麻陽さん
と副キャプテン・
田上くん

言うように、5人の団結力は抜群ですが、チーム内でのライバル意識も強く「練習中はいつもバチバチです」と松野監督は笑います。その言葉通り、練習が始まると表情が一気に引き締まる5人。「みんなの気合が入るよう、積極的に声を出しています」という田上くん、「下級生をまとめることを意識しています」と大滝くんも続けます。

そんな思いは下級生にしっかりと届いているようで、松野監督も「みんなの意識が上がり、相乗効果で下級生も育っています」と評価します。

全国大会に向け、「相手より先に動いて技をかけた」と意気込む一羽くん。姉でキャプテンの麻陽さんも「県代表として恥ずかしくないように、自分より大きな相手でもどんだん技をかけていこう!」と気合十分にチームのみんなを鼓舞します。

チーム一丸となつて挑む第44回全国少年柔道大会は5月5日、講道館(東京都)大道場で開催されます。



写真上段左から/田上龍汰くん、北村麻陽さん 下段左から/大滝晃太くん、松藤新くん、北村一羽くん